

【平成 28 年度「学校案内」原稿】

校長 神戸秀巳

人を育て、社会を育て、未来を育てる学校をめざして

～ 秦野高校は挑戦を続けます ～

秦野高校は、『国家百年の計は教育にあり』を念頭に置いて、「未来を担い支える人間」すなわち「何をすべきかを自らの頭で考え、心で感じ、自らの責任で判断し、自分の言葉で表現し、積極果敢に挑戦し、自ら人生を切り拓いていく人間」の育成に本気で取り組んでいきます。

■「教育活動」の柱

- 1 文武両道 本気で「二兎を追う」教育の追求
- 2 凡事徹底 あたりまえのことがあたりまえにできる人間の育成
- 3 地域貢献 地域との連携を強化した地域の教育力向上と地域活性化への貢献

■「学校経営」の方針

キーワード 『前のめり』(ものごとへの積極的な取組み)

- 1 できることは何でもやる学校
- 2 調子に乗っている学校
- 3 動きの見える学校

感・即・動

■秦野高等学校の校長として今年度の「めざす姿」

テーマ 『殻(から)を破る』

- 1 「全国から秦野へ」「秦野から全国へ」そして「世界へ」
これまで築いてきた全国ネットワークを強化し、さらなる活用を図る
- 2 初志貫徹(しょしかんてつ)
最初に抱いた志を貫き、へこたれず、諦めず、最後まで頑張り抜いて実現させる
- 3 「不易(ふえき)」と「流行(りゅうこう)」
時代の流れにより変えなければならない「流行」を踏まえつつ、「豊かな人間性」や「人を思いやる心」のように、時代の流れに関係なく変えてはいけないものを守り通す矜持(きょうじ)を保つ 信念と志をしっかりと持つ

今年度も、積極果敢な教育活動を着実に実践するため、教職員一同「チーム秦野」として一丸となって、「ミッション」「夢」「ビジョン」「戦略」「戦術」の共有に努めます。そして、地域との連携を一層強化し、未来を見据えた「県立学校づくり」に励んでまいります。

(平成 28 年 4 月)

※実際の「学校案内」では、字数制限により、最後の段落をカットします。